

思い出をたくさん作った校外学習

1・2年生は「華蔵寺公園」、3・4年生は「ぐんま昆虫の森」へ出掛け、5年生は桐生の「東毛少年自然の家」で林間学校を行いました。毎年、子どもたちが楽しみにしているイベントですが、今年も友達といろんな体験ができて良かったです。

1・2年 華蔵寺公園



「いっぱいあそびたいよ」

一年 □□ □□ □□

「ねんせいのみんなと、けそつじこうえんにいきました。いちばんのしかつたのは、ヘリタワです。うんでんしてまえたのをおすのが、たのしかったです。メリーゴランドもたのしかったです。おうまのつたら、ほんとうのうまのつっているみたいで、きもちよかったです。こんどいったら、かんらんしやにのりたいたいです。」



「たのしかったことがいくしゅう」

一年 □□ □□ □□

「いちばんたのしかったのは、コミュニケーションです。ドラゴンやまじよをつたのがたのしかったです。ふたつめは、バッテリーカーです。ほんとうのレースにでているみたいでした。クラクションが「ブーッ」となったのがおもしろかったです。」



「たのしかったけそつじこうえん」
二年 □□ □□ □□
わたしは、五月二十五日にけそつじこうえんゆうえんちへいきました。
「ばんたのしかつたのは、マジカルライダーです。なぜかと言うと、たかくあがったり下にさがったりしたからです。
「ばんめりたのしかつたのは、めめき車です。なぜかと言うと、ゆうえんちのりもののおもえなくて、ほんもののき車だともったからです。
けそつじこうえんは、たのしいものばかりなので、またいきたいなとおもいました。」



「たのしくていっぱいのおもいで」
二年 □□ □□ □□
わたしは、五月二十五日にけそつじこうえんゆうえんちへいきました。
「ばんたのしかつたのは、ローラーすべり台です。なぜかと言うと、すべるといきおいがすくて、たのしかったからです。」

「二つめは、でんしゃの中をたのしくすることです。でんしゃのうんでんせきは、なかなか見れないからです。ポタンがはいって、びっくりました。たのしかったので、またいきたいです。」



わかくさ

三野谷で育て、

かしく、心ゆたかで、たくましく



館林市立第七小学校
校長 宮永 忠幸

水面の新緑が少しずつ濃くなる季節は、日一日とたくましくなる稲苗に、成長する子供の姿が重なります。七小の児童と二度目の田植えを楽しむことができ、校長としての喜びを感じています。今年も、よろしく願っています。

2020年東京オリンピック開催を2年後に控え、同じタイミングで学校教育10年ぶりの改訂の時を迎えます。その中で、今年度は「特別の教科道徳」がスタートしました。文科省は、現代及び10年後の社会を見据えて「自らの人生や社会における『答えが定まっていないう問い』を受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得解(※1)を得るための資質・能力の育成に道徳教育の抜本的充実が必要である」と考えました。道徳科の授業では、今までの「ためになるお話を読んで、より望ましい自分になろうと思う心を耕す」ことに加え、「いろいろな見方・考え方を知り、議論・対話を通して、より深い考え方で自分を見つめる」ことが重視されます。

子どもにとって、学校の先生や同級生との学びだけでなく、家族や地域の大人の関わりが今以上に必要です。最も身近な他者は、もちろん家族です。共に体験したことやニュースに「どうだった? : そうだよね」「どう思う? : だったらさあ」「と対話して、子ども納得解」を、深く、広く、豊かなものにするのが、学校、家庭、地域の大人の使命だと考えています。

今年も、家庭・地域の協力をいただきながら、「かしく、心ゆたかで、たくましく三野谷っ子」を目指して、全力で努めて参ります。どうかよろしく願っています。

※1 納得解：自分が納得でき、周囲の納得も得られる解(答え)

みんなの笑顔で輝く未来を我々学校応援団



平成三十年度 PTA本部役員
家庭・七小・地域の笑顔のために頑張ります!

- 会長 富澤 遼輔
- 副会長 横山 大助
- 副会長 茂木 由美
- 副会長 山野井真友子
- 書記 野村 奈津美
- 書記 原口 由美子
- 会計 茂木 彩加
- 会計 川田 久美

本年度、PTA会長に選任されました、富澤と申します。平素はPTA活動にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、私たちPTAは子供たちの『笑顔』のために、保護者と学校及び先生方が協力し、地域の皆さまと連携し信頼を深めて、お互いが学びあい成長していくPTAを築いていきたいと思っています。そのためには、会員同士がお互いを尊重し、助け合って活動していく中で、私たち保護者や先生方が『笑顔』で楽しんで活動して頂くことが子供たちの『笑顔』に繋がっていくものと信じています。

また、子どもは未来を担う大事な宝です。一人一人が未来の舞台で活躍し幸福を満喫していくことを願いながら、子を持つ親として子どもの関わりをみなさまと一緒に考えてまいりたいと思います。そして私たち保護者は先生方にとって心強い応援団として、より効果的な学校教育をバックアップしていきたいと考えます。



PTA会長 富澤 遼輔

3・4年 ぐんま昆虫の森



「うれしい体験」
四年 □□ □□ □□
私は、校外学習で、昆虫の森に行きました。その中で一番楽しかったことは、カブトムシの幼虫をさわったことです。理由は、私は虫があまり好きではなかったけれど、幼虫をさわったから少し幼虫や虫を好きになりました。幼虫はぶにぶにしています。さわることができて本当にうれしかったです。とても貴重な体験でした。」



「勉強になった校外学習」
三年 □□ □□ □□
五月三十日に、みんなでぐんま昆虫の森に行きました。



まず、「バッタの原っぱ」に行きました。畑にはモンシロチョウがいて、友だちが青虫をさわっていたので、私もさわってみました。すると、くっついてきて、糸を出しているのが分かりました。林にはカブトムシのよう虫がいました。手にのせている友だちがいて、「すごいと思いました。」



「幸せのちゅう」
四年 □□ □□ □□
私は、五月三十日に昆虫の森に行きました。私はぶん、虫は苦手でした。しかし、昆虫の森に行ってみたら、もっと昆虫のことを知りたいたいと思いました。特に興味をもったことは、見つけたら幸せになれるちゅうです。そのちゅうは、羽の部分がオレンジ色で、とてもきれいでした。またそのちゅうを見つけて幸せになりたいです。」



5年 林間学校



「大切なこと」

五年 □□ □□

林間学校での一番の思い出は、ポスト探しゲームです。私は山道で転んでしまいました。が、「だいじょぶ？」「もう少し。」など声をかけ合ってた。ゴールまで行きました。これが「協力」だと思いました。この協力があつたからこそ、全員でゴールできたのだと思います。他にも、うどん作りで班のみんなが自分の役割をしっかりと果たし、おいしく食べることができました。

これも「協力」だと思っています。二日間、相手を思いやり、協力の大切さをたくさん学ぶことができました。



「林間学校で成長したこと」

五年 □□ □□

一つ目は、『人にゆする』ことです。キャンプファイヤーで、レクリエーションをやりました。人数を合わせるナンバークールで、困っている友達がいいたので、ゆずってあげました。すると、その友達が「ありがとう。」と笑顔で言ってくれました。

二つ目は、『人にありがとうという』ことです。二日目に、グループでうどんを作りました。友達が「先、いいよ。」と言ってくれたので、「ありがとう。」と言ったので、「ありがとうがとてすっきりしました。」「ありがとう」は大事な言葉なのだと気付きました。



六年 新橋病院訪問

六年生は、総合的な学習で新橋病院に行つて、お年寄りとの交流をさせてもらっています。一回目は、認知症についての講座を受けて、顔合わせをします。二回目は子どもたちが考えた遊びでお年寄りと交流します。お年寄りとの交流から思いやりの心を深めています。

「すばらしい体験ができたデイケアセンター」

六年 □□ □□



私は、七月四日にデイケアセンターに行きました。前の日、遊ぶ道具を準備しているときに、どう接すればいいのか不安になって、とてもきちょうしていました。そして当日、最初に「手作りしんけいすいじやく」をしました。ルールを説明しても伝わらない人がいたので、近くに寄って少し大きな声でゆっくり話しました。私たちの作ったしんけいすいじやくで喜んでくださったので、すこうれしかったです。

次に、「ジエンガ」で遊びました。おじいちゃんとおばあちゃん一人でやるのは難しいので、みんなでサポートしました。とちゅうまでぬいてあげたり、「順番がきましたよ。」と教えてあげたりしました。「と教えてあげたりしましたよ。」と教えてあげたりしました。

最後に、クラス全員で「ラバースコンチエルト」の合奏と「つばさをください」の合唱をひろうしました。「つばさコンチエルト」は、それぞれ楽器の担当があり、私はリコーダーでした。きんちようしたけど、成功したのでよかったです。「つば



さをください」では、男子は低音パート、女子は高音パートに分かれて歌いました。おばあちゃんやおじいちゃんにはくしゅをもらい、うれしくなりました。

私が担当した班には、目の見えない人や耳が聞こえづらい人がいました。それなので、私は名刺をわたすときに、一回目に新橋病院に行つたときに教えてもらったことを生かして、近くに寄って大きな声で話しました。

今回は、前回とはまたちがうことが学べました。デイケアセンターで働いている人は、お年寄りをおふるに入れたり、ご飯を食わせたりと、とても大変なお仕事をしているんです。それでも大変なこと以上に、うれしいことがあるからだと思います。お世話をして「ありがとう。」と感謝してもらったときに、この仕事をしたいのか。私はデイケアセンターの仕事に少し興味をもちました。こんな素晴らしい体験ができてよかったです。

転出された先生方 ありがとうございました

七小の子どもたちを育て、見守ってくださいありがとうございました。ありがとうございます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



平成三十年三月をもって、退職いたしました。七小での勤務は二年間でしたが、充実した時間を過ごすことができました。元氣なあいさつの声と歌声の美しさは、忘れることはありません。全校児童のほとんどの名前が分かるという環境の中、二くみの子どもたちを中心に、たくさんの子ともたちと関わるのができ、本当に楽しかったです。これからも七小の発展を心からお祈りしております。ありがとうございました。

退職 栗原 久子

七小の皆様お元氣ですか。私は、現在第六小で勤務しています。時々、七小の子ともたちが聞かせてくれた挨拶の声を、懐かしく思い出しています。

七小での三年間は思い出深いことがたくさんありました。みんなで力を尽くした、長なわ大会。高学年が中心となって活躍した、大運動会。みんなが心一つにしてがんばると、大きな力になることを実感しました。これからも、七小の発展を祈っています。

館林市立第六小学校 岩崎 和代

第七小学校で過ごした5年間は、とても楽しいものでした。七小を思い出すと、子どもたちの優しさや、保健委員会の劇や陸上の練習などを一生懸命頑張る姿、気持ちのよいあいさつなど、子どもたちのよいところばかり思い出されます。七小の子ともたちの笑顔と思い出は、私の宝物です。そして、地域の方々や保護者の皆様、教職員のみなさんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

桐生市立北小学校 崎山 舞

七小の思い出

第七小学校では新採用より3年間（産・育休期間を含めると6年間）お世話になりました。七小では職員室から見える景色がとても印象に残っています。遠くに富士山が見える広い校庭で、青々とした芝生の上を子ども達も元氣に走り回っている姿を見るのが何よりの楽しみでした。

この4月より板倉町立北小学校に勤務することになりました。全校児童は86人と七小よりさらに少ないですが、元氣いっぱいな子ども達の様子を見ると、七小の子とも達の姿を思い出します。今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。

板倉町立北小学校 飯嶋 ひろ

転入された先生方 よろしくお願ひします

芝生のある校庭（珍しい！）、花いっぱい（花壇）（花好きにはたまらない！）、校舎の下をくぐる階段（スリル満点！）。とても魅力ある学校です。七小の一員となって、早くも三ヶ月が過ぎました。元氣でたくましい「みのやっ子」たちのパワーに負けなように頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

森下 園江

素直で明るい子ども達とともに、楽しい毎日を送っています。2くみの担任として、そして、音楽を通して多くの子ども達と関わり合う中で感じることは、「七小の子ともたちはよく歌う」ということです。『歌は心』とよくいわれますが、歌が歌えるということとは、心が豊かであるということなのだと思います。これまで、「家庭や学校で育ててきた子ども達の豊かな心を大切にしていきたいながら、日々の指導に力を尽くしていきたいと思ひます。

小林 由佳

「七小はとてもいい学校だよ！」と前任校で言われ、楽しみに来た七小は本当にいい学校でした。朝学校に行く校庭で遊んでいる子達から「なつき先生おはようございます。」と大きな声で挨拶されると「今日も一日頑張ろう！」と元氣になります。これからみなさんと沢山思い出を作っていきたいです。よろしくお願ひします。

田中 奈津姫

地域との連携 世代間交流事業

五年生 田植え体験



六月二十二日、三野谷公民館主催の世代間交流事業の一環として、公民館長さんをはじめ、三野谷地区区長協議会、栄寿クラブ、青少年対PTAの皆さんと一緒に、田植えを行いました。地域のみなさんに教えてもらいながら、子どもたちは、一本一本心を込めて、田植えをしていました。実際の田んぼの感触を味わったり、手植の工夫や苦勞を感じたりできたようです。今後、秋の収穫と感謝の集いに向けて、世話を頑張っていきたいと思います。

いざというときの 救急処置法講習会

六月四日、七小体育館にて、救急処置法講習会が行われました。

館林消防署の方を講師に招き、とてもわかりやすく、心臓マッサージやAEDの使い方指導していただきました。いざというときに慌てないためには、こうした講習会はとても必要だと思います。消防署の方に直接指導をしていただけるといい機会です。年に一度、救急処置法講習会に参加していただき、多くの方々に正しい技術と知識を身に付けていただきたいと思います。

PTA保体補導部 山崎 友紀



今年度から七小で事務の仕事をして頂く、矢部藍と申します。周りの色々な田んぼで困られた七小では、児童の皆さんも穏やかで、素直な子ばかりという印象を受けました。私も事務職員一年目として、素直な気持ちを忘れず、一緒に学校のことを学んでいきたいと思ひます。これからよろしくお願ひします。

矢部 藍

平成30年度 市P連活動スローガン 『ひと声運動』

市P連より、本年度の活動方針が出されました。本年度の重点としては、「児童・生徒の安全・安心を確保するため、子どもたちをとりまく生活環境の整備、健全化に努める」というところです。具体的には、あいさつや交通ルール等について、家庭や地域でも「ひと声」かけていきましょうということ。このスローガンを踏まえ、PTA活動により一層力を入れていければと思います。

編集後記

本年度最初の「わかくさ」が無事に完成しました。編集してみると、改めて学校や地域とのかかわりの大切さや、ありがたさを実感します。本年度も、ぜひPTAと学校、地域とが足並みをそろえて、子どもたちを支えていければと思います。また、原稿にご協力頂いた皆様、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。